

あがの市民病院 倫理委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	地域包括ケア病棟における 75 才以上高齢肺炎患者の自立度の変化と転帰先について
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象者	: 75 才以上で肺炎を呈し当院地域包括ケア病棟へ入棟し、リハビリテーションを実施した入院元が自宅である患者様
対象期間	: 地域包括ケア病棟への入棟日が令和 3 年 8 月から令和 4 年 2 月末日の間
研究責任者	: 長谷川俊輔 (リハビリテーション科)
③ 概要	
<p>肺炎は 75 才以上では死亡割合が増加し、高齢者には重篤な状態になる疾患です。肺炎後においては体力の低下が生じて、日常生活での動作が行いにくくなる方が多いと報告されています。日常生活での自立度が低下することにより、住み慣れた自宅での生活が難しくなることがあります。そこで、本研究は地域包括ケア病棟へ入棟後の自立度の変化と転帰先の傾向を調査し、リハビリテーションと退院支援での留意点の検討を行います。</p>	
④ 申請番号	
⑤ 研究の目的・意義	地域包括ケア病棟に入棟した肺炎患者の自立度と転帰先の傾向を分析し、今後のリハビリテーション及び退院支援の留意点とする。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日より令和 4 年 12 月まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む)	使用するデータは個人が特定されないようにし、研究に使用します。研究成果は学会や専門誌など公表予定ですが、個人が特定できる情報は含まれません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	診療録に保存されている情報、経過及び検査結果。
⑨ 利用の範囲	あがの市民病院 リハビリテーション科
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	あがの市民病院 リハビリテーション科 技師長 藤田圭輔
⑪ お問い合わせ先	あがの市民病院 リハビリテーション科 理学療法士 長谷川俊輔 Tel 0250-62-2780